

授業日時 2021 年 8 月 27 日（金）第 5 校時

授業学級 2 年 C 組

授業会場 被服室

授 業 者

指導教員

指導者

1 単元名 「なんとなく選ぶ」から「考えて選ぶ」へ～用途に応じた食品選択～

2 単元の目標

ア【知識及び技能】

食品表示の読み取り方や食品添加物の安全性，用途に応じた食品選択について理解し，自らの根拠をもって食品を選択することができる。

イ【思考力・判断力・表現力等】

食品選択について収集した情報を，比較・検討し，考察したことを表現して課題を解決することができる。

ウ【学びに向かう人間性】

食品選択に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫・創造し，実践しようとする意欲をもつことができる。

3 単元展開

学習活動	時間
自分の飲みたいジュースを 3 種類の中から選ぶ場面で，食品表示を見て商品の情報を収集し，比較・検討する。	1
食品添加物の入った手作りのジュースを飲んで比較したり，食品添加物の安全性について情報収集したりする。	1
用途に応じたハンバーグを選択し，グループごとに Google スライドにその情報をまとめる。	1
選択したハンバーグについて発表し，友の意見などからよりよい食品選択について個々の考えをまとめる。	1

4 本時の主眼

前半：食品表示の見方や食品添加物の安全性について学習した生徒たちが，用途に応じたハンバーグを選択する場面で，班で話し合っって考えたり，考えたものをスライドにまとめたりする活動を通して，栄養・価格・量・手間・安全性・美味しさ・想い・色合いなどの諸条件を考え，自分なりの根拠をもって食品選択をすることができる。

後半：用途に応じたハンバーグを班ごと選んでスライドにまとめた生徒たちが，重視したポイントと選んだハンバーグを発表する場面で，他のグループの発表を聞いて自身の生活に活かせることをワークシートにまとめることを通して，新たなポイントに気づき，選んだ食品の改善策を考えることができる。

5 本時の位置

〈前時〉食品添加物の入った手作りのジュースを飲んで比較したり，食品添加物の安全性についてインターネットを使って情報収集したりした。

6 指導上の留意点

- ・ 目的に応じた食品選択に正解や不正解はなく，自らの根拠をもって選ぶことが大切だが，調べたことや友の意見などからよりよい食品選択とは何なのか常に自分の考えを更新していくことができるようにする。

7 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 前時を振り返る。	(手をあげる)「炭酸が入っていて甘くて美味しいからです。」 「量が多いからです。」 「食品表示からいろんな情報を読み取りました。」 「100%オレンジジュースとガムシロップ、クエン酸が入っていました。」 「食品添加物は体に悪いイメージが合ったけど、摂り過ぎなければ大丈夫だということが分かりました。」	「前回の授業では自分が飲むためのオレンジジュースを選びました。皆さんは何を選んだかな。ファンタを選んだ人はいますか？」 「なんでその商品を選んだのかな？」 「どこを見て選びましたか。」 「手作りのオレンジジュースを飲んだことは覚えていますか？何が入っていましたか？」 「食品添加物の安全性についてどんなことが分かりましたか？」 「前回はいろんな情報を収集・比較して商品を選ぶことが出来ましたね。」	5分
	2. 場面に合わせた食品選択について考える。	「ファンタがいいと思っていましたが、幼児にはクーがいいと思います。」 「幼児には甘くて一番飲みやすいと思うからです。」 「小さな子にとって食品添加物は少し気になるから、果汁 100%のトロピカーナがいいな。」	「ただ、前回の授業では、自分が飲むためのオレンジジュースとして食品選択をしました。しかし、例えば幼児に飲んでもらうとしたら、前回自分が選択したジュースを飲んでもらいますか？」 ※数人指名する。 「それはどうしてですか？」 「たしかに、クーは甘くてすっきりしていて飲みやすいですね。」 「他にはありますか？」 ※数人指名する。 「なるほど、〇〇さんは食品添加物の観点から幼児に飲んでもらう飲料を選んだのだね、このように飲食をする人の立場に立って考える事も大切ですよね。」 「他にも、ホームパーティや親戚が集まる日という場面によっても食品選択の仕方は異なりますよね？今回は、そのような場面に応じた食品選択の仕方について考えていきたいと思います。」	5分
	【学習問題】 場面に応じた食品選択とはどのようなことを考えればいいのだろう。			

展開	3. 食品選択する際のポイントを考える。	「チルドのものを買って、温めているよ。」 「コンビニでできているものを買うよ。」 「帰ってきて料理をするのは時間がないし、皿洗いが苦手だから。」	「今回は①親の帰りが遅い日、②家族の誕生日、③毎日のお弁当という場面を班の皆に考えて欲しいです。」 「例えば、夕飯にハンバーグを食べたいのに親の帰りが遅くて自分で用意しなければいけなかったらどうする？」 「確かにチルドのものを温めるという選択肢もありますね。他の意見はありますか？」 「なるほど。どうしてそれを選んだのですか？」 「そうですね。学校から帰ってきたら、すぐに夕飯の時間になるのでなるべくすぐに食べたいですね。」 ※栄養・価格・手間・安全性・美味しさ・想い・色合いなどのポイントから食品選択をしていることに気付かせる。	10分
	4. 場面に応じたハンバーグと付け合わせを選ぶ。 ① ネットスーパーの使い方やスライドのまとめ方を聞く。 ② 重視したいことを班で考え、ネットスーパーで食品を選択する。	「誕生日だから美味しさと想いを重要視したいな。」 「親の帰りが遅い日は、手作りするのは難しいから、手間がかからないものがないな。」 「忙しい日は冷凍のデミグラスハンバーグがいいな。」 「成形ハンバーグもいいと思う、だけどソースだけは作らなくてはいけないね。」 「誕生日は手作りしたいな。」	【学習課題】 栄養・価格・量・手間・安全性・美味しさ・想い・色合いなど場面ごとに重視したいポイントを意識して比較・検討しながらハンバーグを選ぼう。 「それぞれの班の場面に応じたハンバーグと一緒に食べたいもの1～2品を班で話し合いながらネットスーパーから選び、Google スライドにまとめて下さい。後ほど、選んだものについて発表してもらいます。」 ※ネットスーパーの見方・調べ方を見せる。 ※スライドの書き方の説明を行う。 「班ごとに場面をくじで選んでもらいます。その場面に合った食品を選ぶために重視したいポイントを班で話し合ってください。」【Google スライド】 ※①親の帰りが遅い日、②家族の誕生日、③毎日のお弁当の日をくじ引きで各3班ずつに分け食品選択を行う。 ※手作りする班(1～2班)にはアレルギーのことを考慮するように伝える。 「それでは、ネットスーパーを使って食品選択を行ってください。」 ※①親の帰りが遅い日、②家族の誕生日、③毎日のお弁当の日をくじ引きで各3班ずつに分け食品選択を行う。 ※手作りする班(1～2班)にはアレルギーのことを考慮するように伝える。 ※机間指導をする際には、生徒たちがいろいろな視点から食品選択できるよう適宜声かけをする。 ※食品が決まらない班には、場面について具体的に想起させた上で、どのような食品を選びたいのか質問し、考えが明確になるようにする。	25分

終末	5. 発表する。	「私の班のお題は誕生日のハンバーグであつたので、美味しさと想いと安全性という3つのポイントを重視して豆腐ハンバーグを考えました。ハンバーグに使う食材は、国産の合い挽き肉と、北海道産小麦粉を100%使用したパン粉、国産大豆の木綿、北海道産の玉ねぎ、有機豆乳を選びました。国産の食品を選ぶことで、安全性に配慮しました・・・」	「それでは、班ごとに場面に応じて選んだ食品と重視したポイントやその理由、こだわった点などを発表してください。」 ※一班3分程度。 「発表を聞いて良かった点や自分の生活に役立ちそうな点などをワークシートに書いてください。」【ワークシート】 「国産を意識して選んでいたね。安全性を重視して国産を選んだということは、外国産は安全ではないのかな？どうなのだろう？」 ※時間の関係上、全体で深く掘り下げないが、問題提起をして生徒に考えさせる。	30分
	6. いろいろな班の意見を聞き、個人で改善する。	「ハンバーグと一緒に食べるサラダだけでも冷凍ではなくて、生野菜を選びたいな。」 「お弁当の日のハンバーグのソースは垂れにくいものがないかな。」	「みんなの意見を聞いて、自分の班のここを更に改善すれば良いのではないかなと思うところを個人で考えてください。」【ワークシート】 ※悩んでいる生徒には、友の意見から参考にできることはなかったか問い、考えをまとめられるように一緒に考える。	5分
	7. グループ内で発表する。	「私は、色合いをよくするためにサラダにトマトを入れるといいなと思いました。」 「僕は、家族が牛乳アレルギーなので牛乳が入っていない食品を選ぶようにしたいです。」	「個人で考えたことをグループ内で発表し合ってください。」 ※グループ内で出た意見を1～2人に発表してもらう。	5分
	8. まとめをする。	「普段、お母さんやお父さんがどのようなポイントで食品選択をしているのか聞いてみたいと思いました。」 「重視したいポイントに沿った食品選択をするのは難しかったけれど、理想のハンバーグが選べたので良かったです。」 「場面に合わせて重視するポイントを変えて選ぶことが必要だと思いました。」	「今回は主に場面に応じた食品選択を行ってきたけれど、皆はどうでしたか。ワークシートに、振り返りと今後の生活に活かしたいことを書いてください。」 【ワークシート】 「〇〇さんどうでしたか？」 ※時間に余裕があれば、1～2人に感想を発表してもらう。 「そうですね。これからこのような毎日のお弁当や家族の誕生日などと場面や食べる人を想定して食事を考える時が必ずくると思います。どの食品を選ぶのかは人それぞれですが、いろいろなポイントを踏まえてなんとなくではなく考えた上で、自分なりの根拠を持った食品選択ができるとういことです。」	5分

【本時の評価（評価する対象）】

栄養・価格・量・手間・安全性・美味しさ・想い・色合いなどの諸条件を考え、自分なりの根拠をもって食品選択をすることができる。（Google スライド、ワークシート）